

プランターでの 収穫後の、古い土のリフレッシュ

《設置場所》

雨の当たらない風通しのよい場所

《必要なもの》

- ・プランター（大きめのものがベスト）
- ・土（収穫後の栄養が無くなったもの、山・田畑の土など）
- ・米ぬか又はボカシ
- ・シート、波板など
- ・カキ殻石灰(有機石灰)



草やワラをかぶせる。

- ① ごみが出るたびに1センチ幅に切って、冷蔵庫でためておきます。
- ② 土の2～3割の体積の生ごみがたまったら、米ぬか（又はボカシ）をまぶして、土としっかり混ぜ合わせます。
※米ぬかは分解をスムーズに進めるために入れます。
- ③ 草やワラをかぶせ、シートや通気のよい波板等でフタをします。
- ④ 空気をを入れて順調に分解させるため、生ごみを入れた日から3日目、7日目、14日目を目安に、隅までよく混ぜます。
※土は常にしっとりするように水分管理が大切です。



冬場は透明のシートで覆い、日の当たる場所に置く。
(太陽の光をあてて、分解を促します)

21

生ごみ堆肥作り

ユとしても行うことができます!



この方法もGood!

シートの上に土をひっくり返して、混ぜるとよく混ざります。

②の作業が済んだ後、土をシートで包んだ状態で保管しながら、3日目、7日目、14日目にそのまま混ぜる方法も便利です!



- ⑤ 14日目、カキ殻石灰(有機石灰)をコップ1杯程度混ぜます。
- ⑥ さらに2週間以上、土が乾かないようにシートで覆って分解を待ちます。
- ⑦ 生ごみを入れて1ヶ月以上たち、土にまったくくさい臭いがしなければ、植え付けることができます。

(夏場は4週間、冬場は8週間くらいかかります)



植付けの前に

プランターから土を出し、水はけを良くするため、底にもみ殻を5cm敷くか、底石を入れます。



22